

Financial Results 3Q

2026年8月期 第3四半期 決算説明資料

2026年7月13日



エコモット株式会社

証券コード：3987

01 当社の概要

02 第3四半期決算概要

03 事業運営の進捗状況

04 Appendix

The background features a series of overlapping, wavy lines in shades of light blue and green, creating a sense of motion and depth.

01

当社の概要

Mission

未来の常識を創る

近い未来、それが当たり前になるような
新しい革命的な製品を世に出し、
人々の幸せに貢献します。

進化するテクノロジーの最先端を追いかけながら、
いち早く社会に実装していく。
それが、我々のミッションです。

地球温暖化による環境問題や人口減による少子高齢化
問題、インフラの老朽化など、我々は様々な社会問題
と直面しております。

この問題は誰かが解決してくれるわけではありません。
我々が自ら主体となって取り組んでいかななくてはなら
ない問題なのです。

IoT・AIを中心としたソリューションを提供し、
世の中のインフラとして機能し、無くてはならない
会社となることを目指しております。

サイバーとフィジカルを繋ぐ、次世代インフラ企業と
して、誰もがやったことの無い事に取り組み、お客様
と共に悩み苦しみ、そして喜び、新しい常識を創って
いく。

Vision

このテクノロジーで もっと、先の未来へ

誰かのものではない、私たちのテクノロジーを、
今より少し先の社会に実装する。

Credo

Commit to Growth

成長にコミット

Challenge for Innovation

イノベーションへの挑戦

Communicate with Team

チームでコミュニケーション

Carefully and Speedy

注意深くスピーディに

Contribution to Society

社会への貢献

Care for Wellness

健康に気を配る



02

第3四半期決算概要

コンストラクションソリューションは増収 連結売上総利益率が前期比1.5ポイント改善へ

原価の見直しを継続し、第3四半期においても
売上総利益率が改善したことで高収益体質へ

連結子会社パワーでんきイノベーションの連結除外（2025年8月29日売却）に伴い売上高は減少した一方、原価率の改善により売上総利益率が向上し、藤山水産加工の株式取得に伴う「負ののれん発生益」の計上により純利益が改善

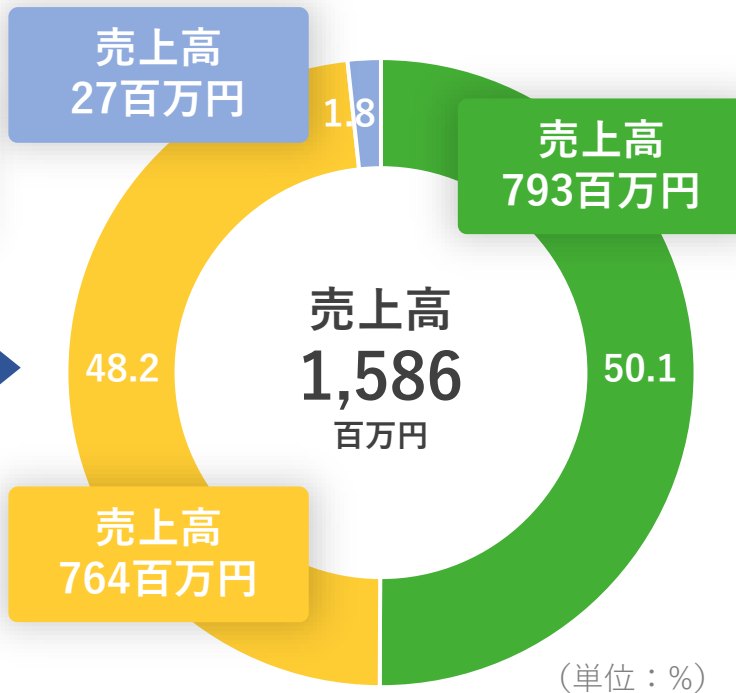
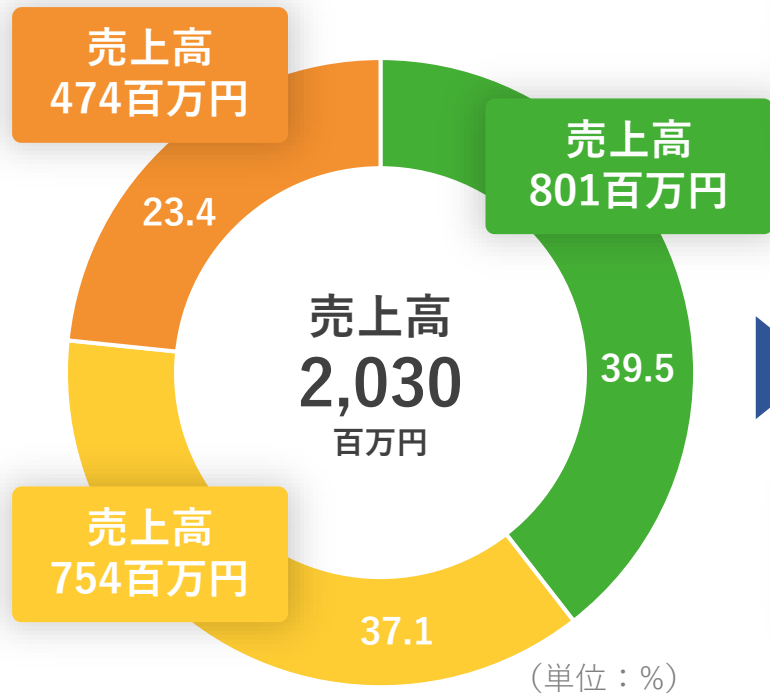
(単位：百万円)	2026年8月期 3Q実績		2025年8月期 3Q実績		前期比較	
	実績	売上比	実績	売上比	実績増減	前期比
売上高	1,586	-	2,030	-	△444	21.9%減
売上総利益	612	38.6%	753	37.1%	△141	18.7%減
営業利益	△119	△7.6%	11	0.6%	△131	-
純利益	△29	△1.8%	△57	△2.9%	28	-

ソリューション別売上高増減要因



2025年8月期第3四半期売上高

2026年8月期第3四半期売上高



■ IoTビジネスイノベーション ■ コンストラクションソリューション ■ その他事業 ■ IoTパワード

※連結子会社パワーでんきイノベーションの連結除外（2025年8月29日売却）および藤山水産加工株式会社の連結子会社化に伴い、売上高の構成が大きく変化

IoTビジネスイノベーション



FASTIO

YR

ゆりもっと



Yourstand

ゆりもっとは前年比105%で堅調に推移継続、KDDI株式会社とのアライアンスは計画していた案件がPoC開発までにとどまり具体的案件にまで至らなかったこと、直販は補助金案件が前倒しで2Q計上、既存顧客の追加開発は計画通りだったものの、新規案件の創出に苦戦し売上高減少となった

コンストラクションソリューション



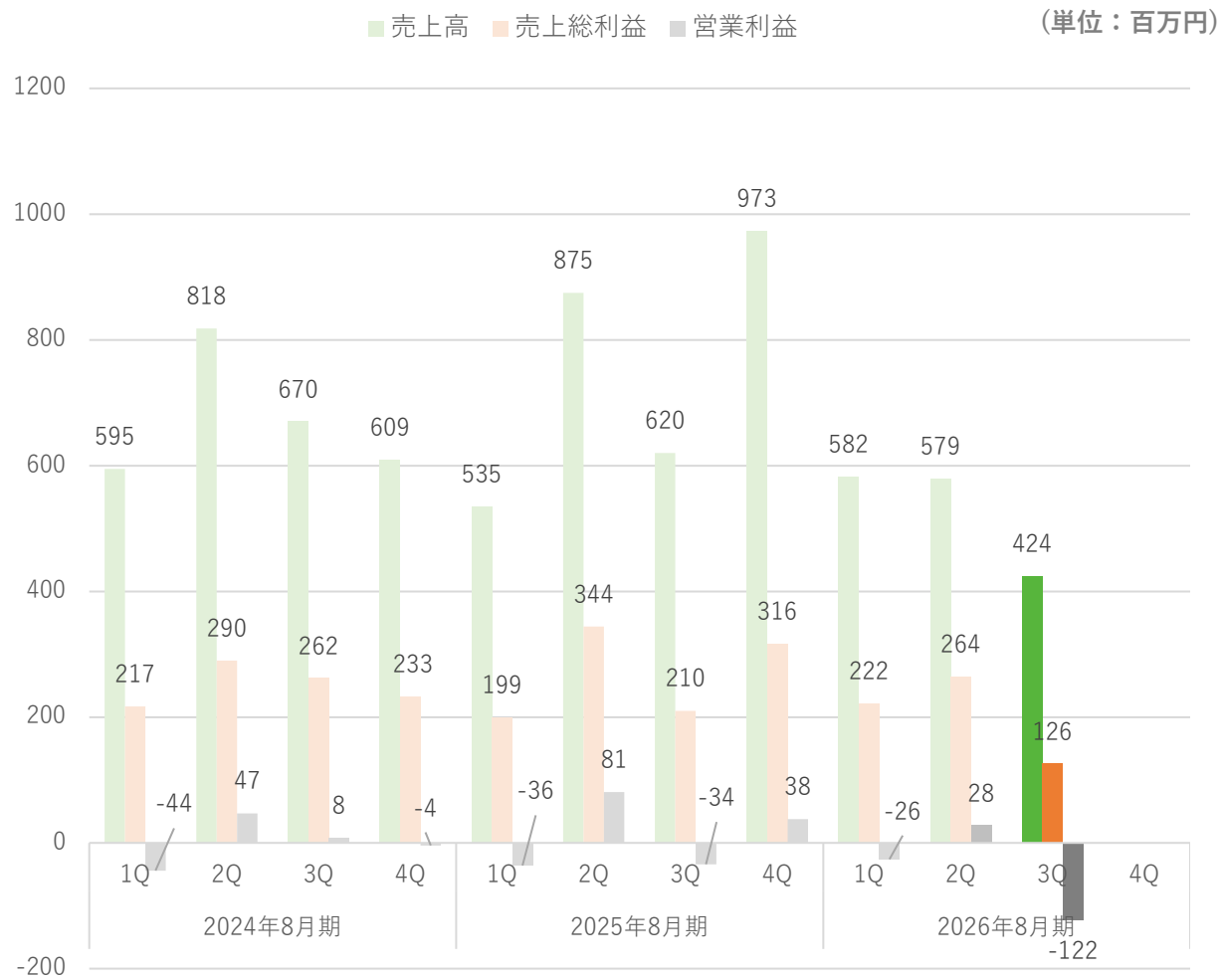
生産性向上AIカメラ「PROLICA」をはじめとするAI活用案件および、「Gウェーブ」による通信不感地帯でのネットワーク構築を伴う案件の拡大に加えて、「GenVital LTE」や配筋検査ARシステム「BAIAS」が好調に推移
またゼネコン各社との共創事業も拡大した結果、売上高増加に繋がった

その他事業

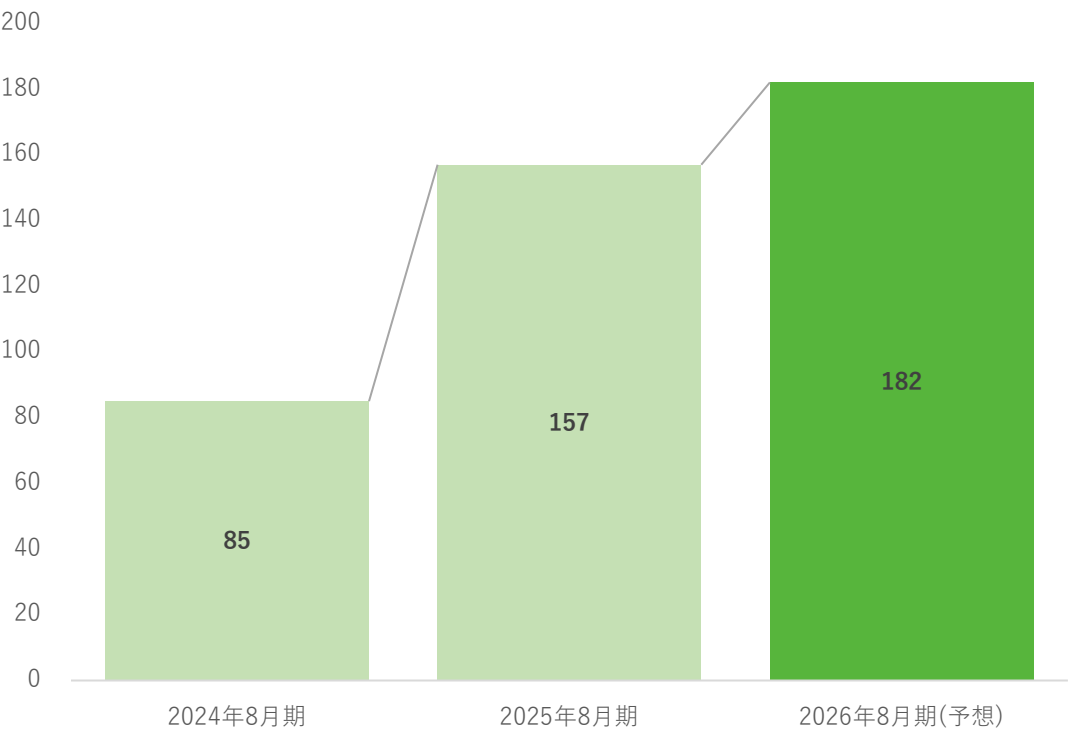


株式会社 藤山水産加工

2026年3月2日に全株式を取得し、連結子会社化つづ貝、北寄貝等を中心に仕入後、一定期間を自社水槽で畜養し市場向けに安定供給を目指す
また、システム開発に向けた水産業知見獲得の場として活用中



EBITDA (単位：百万円)





03

事業運営の進捗状況

IoTビジネスイノベーション



日常の走行で路面を可視化するエッジAI路面解析ソリューション『Miruroad』 社会実装に向けて着実に進捗

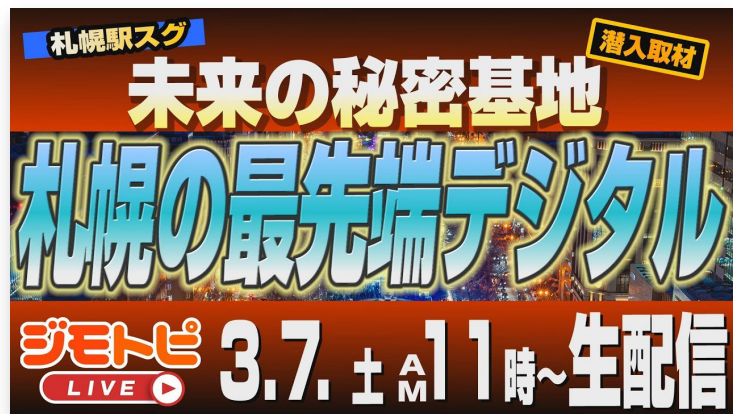
デジタル庁が運営しているテクノロジーマップに掲載

「目視等による施工・経年劣化・安全措置対策状況等確認のデジタル化を実現する製品・サービス」のカテゴリにおいて掲載

国土交通省「点検支援技術性能カタログ（令和8年版）」に掲載

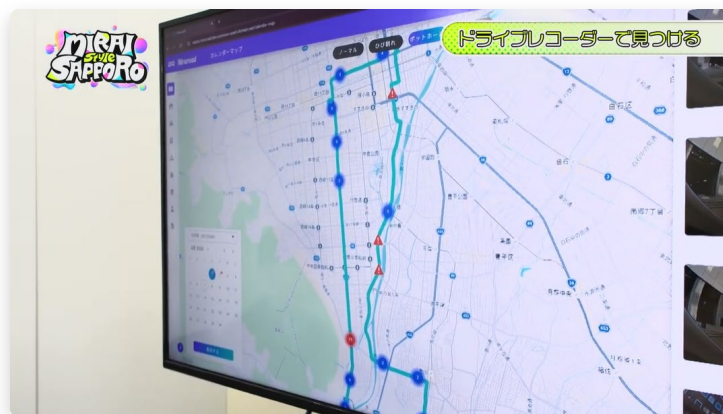
国土交通省の策定する「点検支援技術性能カタログ【舗装編】（令和8年版）」に掲載
本カタログにおいて、「IRI（国際平坦性指数）の推定」に関する点検支援技術としてその性能が認められた

J:COM「ジモトピLIVE札幌 AIが地元の道路を見守る!？」で紹介



https://www.youtube.com/live/TQnj15YX55E?si=kcH149nF_i0PAbfJ

J:COM「AIドラレコで発見! 春のボコボコ道【MIRAI Style SAPPORO】」で紹介



<https://youtu.be/BguPKglqzss?si=aMEgyrxLwbjefrXs>

POINT

- **日常走行で点検データを収集**
パトロール車・ゴミ収集車・宅配車両など地域を日常的に巡回する車両に機器を取り付けるだけでAIドライブレコーダーが5m間隔で路面を解析、データを自動的にクラウドへ送信し蓄積する
- **継続記録によって変化が見える化**
走行映像は時系列で管理しているため「異常なし → ひび割れ → 一部がポットホール化」へと変化する進行プロセスが直感的に把握でき、補修の優先度判断を容易にする
- **今後の展望**
プレリリース期間中に集まったフィードバックを反映しAI精度・操作性・機能性を改善する
今後はキロポスト表示、区画線検知、標識、道路境界、建築限界といった様々なニーズにこたえるべく、機能の充実を図る



製品ページ：
<https://www.ecomott.co.jp/approach/smart-infrastructure/miruroad/>

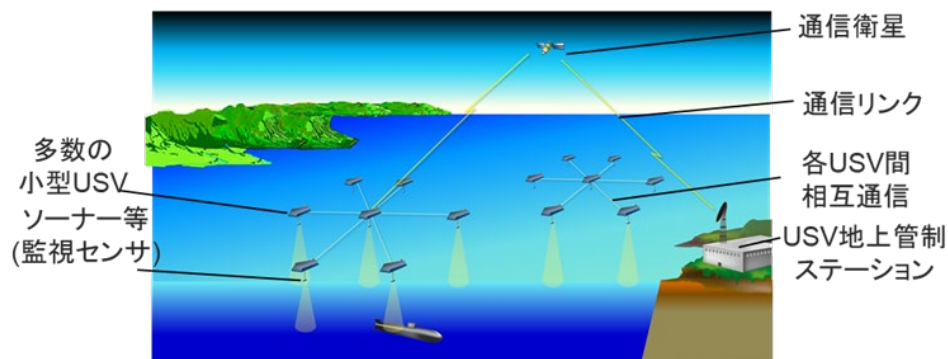
IoTビジネスイノベーション



防衛装備庁「海洋監視制御システムの研究」に参画

防衛装備庁 防衛イノベーション科学技術研究所（DISTI）が実施する「実証型ブレークスルー研究」の「海洋監視制御システムの研究」において、一般財団法人ニューメディア開発協会を事業管理機関とするコンソーシアムの実施協力機関として参画

本事業は2024年10月に発足した防衛イノベーション科学技術研究所（DISTI）による「実証型ブレークスルー研究」として実施、各専門領域に独自の強みを持つ11社の企業・機関が連携し、広域海域に多数の自律航行型無人水上艇（以下「USV」）を協調的に展開することで、海洋監視制御システムの確立を目指す



- ・ 群制御、USVの各先端技術を融合
- ・ メンテナンスフリーな小型プラットフォーム、群制御による広域常時海洋監視システムを研究

➤ 広域の海洋の常時監視を無人化

「防衛技術シンポジウム2025」（防衛装備庁）（https://www.mod.go.jp/atla/research/ats2025/pdf_oral_matl/1111_1120_s04.pdf）を加工して作成

POINT

- ・ **本事業について（防衛装備庁 公表情報）**
品 目：海洋監視制御システムの研究
契 約 日：2025年3月31日
契約相手方：一般財団法人
ニューメディア開発協会
契 約 額：2,480,500,000円
- ・ **参画企業（順不同）**
株式会社UMIAILE
株式会社ブルーオーシャン研究所
日本電気株式会社
スターライト工業株式会社
株式会社ライトハウス
株式会社環境シミュレーション研究所
フュージョン有限会社
株式会社クレアリンクテクノロジー
エコモット株式会社

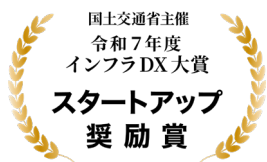
他1社

UMIAILE様 お知らせURL：
<https://umiaile.com/posts/eX2THAbu>

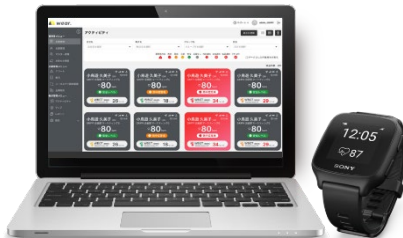
体調管理ソリューション「GenVital LTE」が引き続き好調

「うずくまり検知」「AIアドバイス」「現場チャット『direct』との連携」を追加

現場作業員の安全性向上と、安全管理の効率化により貢献できるよう、ご利用いただいたユーザーから特に要望が多かった機能を実装し、2026年4月より提供開始



NETIS 登録製品



導入数

2300

4500

2025年シーズン

2026年シーズン
(6月末時点)

導入数は
昨シーズン比で
倍近くに増加

1 うずくまり検知機能



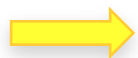
リストバンド着用者のうずくまりを検知し、管理者へアラート通知

2 AIアドバイス機能



週間レポートからAIがアドバイスを提供

3 株式会社L is Bが提供する現場チャット「direct」と連携



建設現場で広く活用されている現場チャット「direct」へ、各種アラートをプッシュ通知

direct ダイレクト

顔認証システム「FACEma」との連携システムを開発中

利用者登録の手間を縮減することで利便性向上を図るべく、村本建設株式会社および株式会社キッズウェイと共同で開発に着手（10月末の実装を目指す）



POINT

- 体調管理ソリューション「GenVital LTE」が今年も引き続き好調で、2026年6月時点で、今シーズンの導入台数は約4,500台に到達。昨年の2,300台に対してほぼ倍増している
- ユーザーより要望が多かった新機能「うずくまり検知」「AIアドバイス」「現場チャット『direct』との連携」を2026年4月より実装し、現場作業員の安全性向上と、安全管理の効率化に一層貢献
- 現在、顔認証システム「FACEma（フェイスマ）」との連携システムを開発中
- 利用者登録の手間を縮減し、日々の作業員の入れ替わりが多い建築現場でのユーザー拡大を目指す

AI侵入検知ソリューション「PROLICA LIGHT」を提供開始 建設現場の安全管理をエッジAIで効率化

解析モデルの構築や追加学習不要で、導入コストや導入までのリードタイムを短縮
現場で手軽に運用できるAIシステムの提供により、ユーザー層の拡大を目指す



製品外観

■「PROLICA LIGHT」の主な特徴

NETIS 登録製品

1. クラウドを介さないリアルタイム性

- ✓ エッジAIによるカメラ内解析でリアルタイム検知を実現
- ✓ 検知時は回転灯やカーゲート等の外部機器と即時連動

2. 学習不要で速やかに現場へ導入可能

- ✓ AI解析パッケージ標準搭載でモデル構築や追加学習は不要
- ✓ 機器設置後にブラウザから検知条件を設定するだけで、即座に運用を開始

3. 柔軟な検知パターンと遠隔設定

- ✓ 検知対象（人・車両等）と検知パターン（侵入・滞留等）を自在に組合せ可能
- ✓ 検知範囲や感度の設定変更は、遠隔地からブラウザ上で完結

4. パッケージ提供で電源レス環境にも対応

- ✓ カメラ、通信・制御盤、アプリをパッケージ提供。オプションのソーラー電源システムにより、商用電源のない場所でも設置・利用可能

■ 導入のメリット・特長

- ・ 安全管理の効率化
- ・ 事故リスク低減
- ・ 作業員の省人化
- ・ 納品後速やかに運用可能

利用シーン例



工事車両出入口に接近する一般車両を検知



重機の作業半径内への作業員の立入を監視

POINT

- ・ 建設現場の安全管理においては、AIの活用ニーズが高まる一方、従来のAI監視システムは、用途ごとに学習データの準備や個別チューニングが必要で、高額な学習コストや実装までの期間を要するという課題があった
- ・ この課題に対応するためGRIFFYは「PROLICA LIGHT」を提供開始、エッジAIによる遅延のない外部機器連動や、遠隔からのブラウザ設定で安全管理を効率化できる
- ・ 現場で手軽に運用できるAIシステムを提供しユーザー層の拡大を目指すとともに、建設業界の共通課題である作業員の省人化、安全管理の効率化に貢献する

その他事業

藤山水産加工 『水産DX・フィジカルAIの実証拠点』として運用開始

藤山水産加工の主力商品であるつぶ貝などの活貝は、夏場の水温上昇により大量廃棄リスクに直結する

今回、工場内の水槽に水温センサーを設置、IoTプラットフォーム『FASTIO』と接続することにより、水温異常時にメール通知するシステムを構築。経験や勘に依存していた品質管理を、データに基づく運用へ転換



POINT

• 戦略的背景

実際の水産加工現場でIoTデータを取得・活用し、IoT・AI技術を社会実装する

• 第一弾プロジェクト

水温センシングシステムを導入、品質保持と廃棄ロス低減に向けたデータ活用基盤を構築

• FASTIOダッシュボード&アラート機能

各水槽の10分間隔の水温状況を可視化
水温上昇アラートの閾値を超えた場合、管理者に即時メール通知。異常の早期対応を実現

• 将来の展望

今後は水温に加え、溶存酸素 (DO) 等の水質データを蓄積し、将来的には、給水設備や冷却設備との連携による環境制御への活用を視野に入れ、水産加工現場の省人化・自律化を実現するフィジカルAI基盤へ発展させる



04 Appendix

会社概要

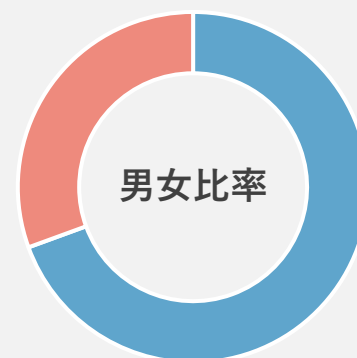


社名	エコモット株式会社
代表者	代表取締役 入澤 拓也
設立	2007年2月（決算期：8月）
資本金	6億1,796万円（2026年5月末現在）
本所在地	北海道札幌市中央区北1条東1丁目2-5 カレスサッポロビル7F
営業所	札幌・東京・青森
事業概要	IoTインテグレーション事業

2017年6月21日 札幌証券取引所アンビシャス上場
2018年6月22日 東京証券取引所マザーズ(現グロース)上場
2019年1月16日 KDDI株式会社と資本業務提携
2023年3月27日 積水樹脂株式会社と資本業務提携

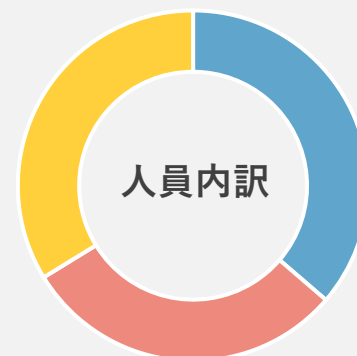
従業員数（連結）

135名〔22名〕 2026年5月末時点



■ 男性 … **69.4%**

■ 女性 … **30.6%**



■ 技術職 … **36.3%**

SE、設計製造、工事 他

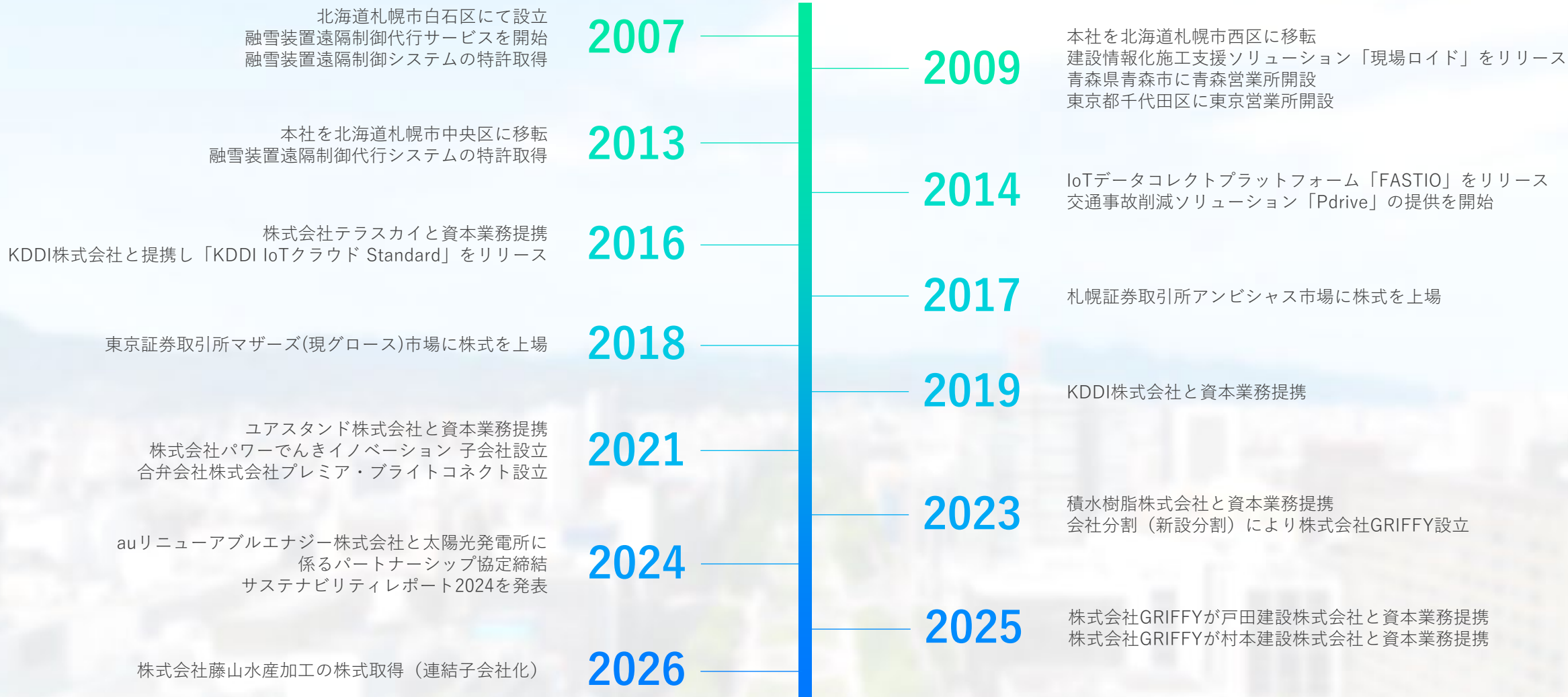
■ 営業職 … **29.9%**

営業・カスタマーサービス 他

■ 管理・総合職 … **33.8%**

管理・カスタマーサポート 他

※従業員数は就業人員数（当社グループから社外への出向者・役員を除く）であり、臨時雇用者数（パートタイマー）は〔 〕内に記載



サステナブル（持続可能）な社会の実現

IoTインテグレーション専門プロバイダーとしてソリューションを提供



IoTインテグレーション事業

IoTビジネスイノベーション

KDDI株式会社や積水樹脂株式会社等との協業を軸にDXを支援。また、「ゆりもっと」等、IoTプロダクト販売等を行う。



インテグレーション
ソリューション



モニタリング
ソリューション

持分法適用会社



モビリティ
サービス

コンストラクション ソリューション

建設現場の安全性、生産性、施工品質水準をデジタルテクノロジーによって向上させ、これを以て日本国土の発展ならびに防災に貢献する。



GRIFFY

建設情報化施工
支援ソリューション

その他事業

水産物の加工及び販売事業を行う



株式会社 藤山水産加工

すべてを掌握する「垂直統合」の一気通貫体制



すべてのIoTパーツを自社で開発する「フルスタック」な体制を構築、ブラックボックスのない、圧倒的なスピードと柔軟性を備えた課題解決を実現

ハードウェア選定 設計・製造

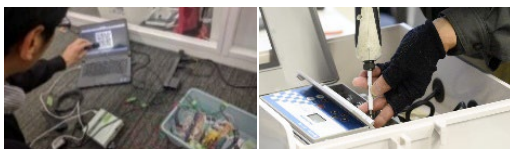
センサーの豊富な接続実績



自社開発の通信デバイス



自社エンジニアによる設計・製造



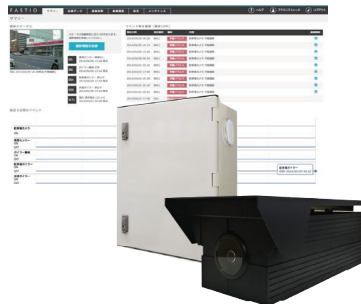
ファームウェア・ 組込ソフト設計開発

既製品では対応困難なニーズに自社で組込ソフト開発・回路設計を行った独自デバイスを構築・提供



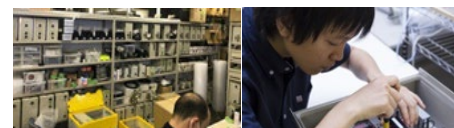
AI・WEBアプリケーション 設計・開発

最先端AI・テクノロジーを取り入れた開発環境クラウドやネイティブアプリ開発等、あらゆる分野の技術者が在籍



制御盤製造・設置 メンテナンス

熟練技術者による
制御盤製造・キitting

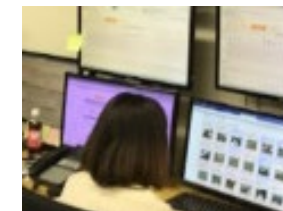


多くの実績に裏付けられた
フィールドでの設置ノウハウ



保守・監視対応

融雪システム監視
(冬期間24時間)



24時間システム保守



各ベンダー・メーカー間の調整に、
不要な時間を要さず迅速なサービス提供が可能

垂直統合で一気通貫

ビジネスモデル：IoTインテグレーション事業



デバイスから最先端AIまですべてのIoTパーツを自社で開発・掌握し、ブラックボックスのない「自分たちのテクノロジー」と柔軟な実装力を武器に、顧客ニーズや現場特有の課題に対してフィットするソリューションを提供する

スマートインフラ



GX



IoT・AIビジネス共創



建設・土木DX



AI研究開発



モビリティ



事例01：KDDI「KDDI IoTクラウドStandard」

FASTIOをベースにKDDIと共同開発



現地に設置したセンサー・カメラなどの2,000種類以上の機器をインターネットに接続することでさまざまなデータの収集・分析が可能なサービス

要望に応じてカスタマイズ可能な「コース」と開発不要で簡単に導入できる「パッケージ」の2種から選択可能

事例02：積水樹脂「ICOT-LINK」



IoT製品を地図データと連携させ、遠隔監視、制御、データ分析、システム連携可能な Web アプリケーションサービス「ICOT-LINK®」を積水樹脂と共同開発

ICOT-LINK対応製品の第一弾としてスマートLED表示板「オプトマーカ-ICOT」をリリース

創業より培ってきたIoT/AIの現場力を起点に、フィジカルAI領域への事業拡大と実証基盤の構築を行う

IoT / AI市場

Core business

- 国内 IoT市場

CAGR 8.0%

2023年6.9兆円 → 2028年10.1兆円

IDC Japan (2024/10)

- 国内 AIシステム市場

CAGR 25.6%

2024年1.3兆円 → 2029年4.2兆円

IDC Japan (2025/5)

当社事業の基盤領域

フィジカルAI市場

Growth focus

- グローバル フィジカルAI市場

CAGR 36.1%

2025年12.2兆円 → 2033年144兆円

11ドル=150円換算、Grand View Research (2026)

- グローバル 人型ロボット市場

CAGR 37.0%

2025年1.2兆円 → 2035年27.3兆円

11ドル=150円換算、Future Market Insights (2025/8)

経済産業省が重点分野に指定

水産DX

Demonstration/Execution

- 国内 次世代養殖技術市場*

CAGR 2.65%

2024年683億円 → 2029年778億円

矢野経済研究所 (2025/10)

株式会社藤山水産加工を子会社化

(2026/3)

水産DX・フィジカルAIの実証拠点へ

- AIによる仕入れ最適化・省力化
- 生育モニタリング
- デジタル衛生管理

IoT/AIの技術基盤 × フィジカルAIの成長市場 × 水産加工現場の実証環境 = 持続的成長を図る

* スマート水産（自動給餌機システム・飼育管理システム）、陸上養殖システム、アクアポニックス、低魚粉飼料、昆虫飼料の5分野を対象とした市場

累計2万現場への提供で培った現場力で建設業の課題に取り組み、事業を拡大

IoT / AI市場

Core business

- 国内 IoT市場

CAGR 8.0%

2023年6.9兆円 → 2028年10.1兆円

IDC Japan (2024/10)

- 国内 AIシステム市場

CAGR 25.6%

2024年1.3兆円 → 2029年4.2兆円

IDC Japan (2025/5)

当社事業の基盤領域

建設業の構造的課題

Market Issues

- 時間外労働上限規制

就業者 ▲30.4%

1997年685万人 → 2024年477万人

国土交通省 (2025)

- 技術者の高齢化と若手不足

60歳以上25.8%
29歳以下11.7%

国土交通省 (2025)

i-Construction2.0の策定と実施

建設DX市場

Target Market

- 国内 建設テック市場

CAGR 7.4%

2023年1,845億円 → 2030年3,043億円

矢野経済研究所 (2025/3)

市場フェーズは創成期から成長期へ

DX化の余地が大きく、高ニーズ

- 累計20,000件超えの現場力
- NETIS登録製品ラインナップ
- ゼネコン各社との共創事業

IoT/AI技術と現場力 × 深刻化する建設業の人手不足 × 国策としてのDX推進 = 建設DX市場での成長加速

サービス紹介：IoTビジネスイノベーション



融雪システム遠隔監視ソリューション

YR ゆりもっと

融雪ボイラーが設置されている施設の路面状況を、当社の監視センターで遠隔監視、従来の降雪センサーによる運用と比べ、融雪にかかるエネルギーコストを大幅に削減することができるサービス

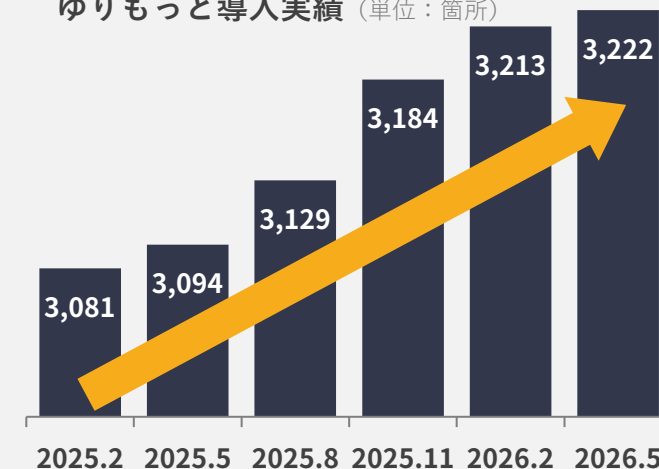


POINT

- 北海道・北東北のマンションを顧客とし、**3,000箇所以上の監視実績、同業他社との協業**により、導入実績が増加
- 灯油・ガス等の**年間燃料コストを平均約42%削減**
- 1シーズンで39,000トン超のCO2削減**
(日本人1人あたりCO2排出量8.4トン※)
- AIモデルを構築し検証・評価フェーズへ移行、**今シーズンは監視員による判断とAI判定結果の比較検証を通じ精度向上を推進**

※全国地球温暖化防止活動推進センター
「日本の二酸化炭素排出量の推移」
<https://www.jccca.org/download/65455> (2024/4/3)

ゆりもっと導入実績 (単位：箇所)



サービス紹介：コンストラクションソリューション

建設現場向けDXサービス（NETIS対応）



GR 現場ロイド

20,000件以上の土木建設・災害現場でご利用いただいている
「現場の見える化」サービス

工事現場の安全性向上・業務効率化・品質向上を目的とした多種多様な製品を提供

国土交通省NETIS「活用促進技術」に選定
対前年同期比で稼働数が約**120%**と好調

BAIAS（バイアス） 配筋検査ARシステム



NETIS登録番号：CB-230022-VE

2024年5月、国土交通省「NETIS」に
登録、更なる普及が期待される

PROLICA（プロリカ） 生産性向上エッジAIカメラ



活用事例：
出庫箇所に接近する車両を検知

NETIS登録番号：KT-240018-A

トンネルや山間部でのニーズ増大により
対前年同期比で売上高が**3倍超**

Gウェーブ 通信不感地帯向けネットワーク構築



NETIS登録番号：KT-240171-A

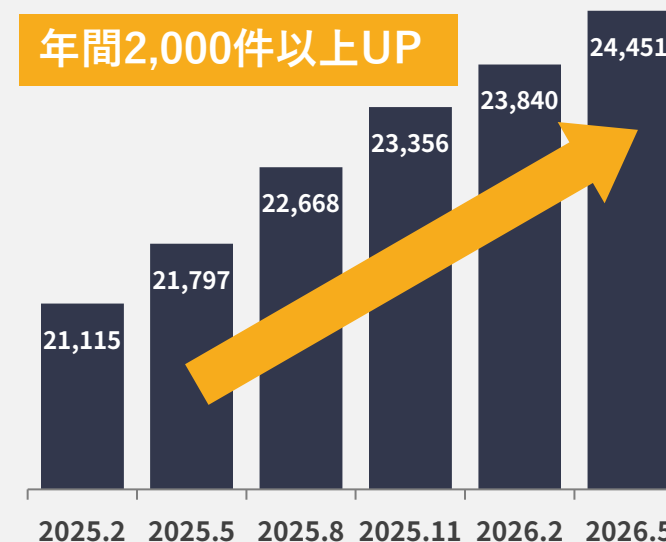


POINT

- 販売代理店をメインとした全国の営業網で20,000件以上の導入実績
- 公共工事の入札時に加点評価がつく**NETIS対応製品が豊富**
- NETIS対応製品含む42アイテム**ものパッケージ製品を取り扱う

現場ロイド導入実績（単位：件）

年間2,000件以上UP



※GRIFFYの決算期は6月

「もっと、グリーンな明日に。」をスローガンに社会の持続可能な発展を企業の責務と捉え、サステナビリティ活動を積極的に推進、未来の世代に豊かな地球を残すために企業活動のあらゆる側面で持続可能性を追求



コーポレートスローガン

未来の常識を創る



持続可能な社会

もっと、グリーンな明日に。

環境 IoT・AI テクノロジーによるGX推進

- ユニークなアイディアで新しいソリューションを創出
- 融雪制御装置の省エネ運転でCO2削減
- 外部連携と社内実践で推進する環境活動

働く人 ウェルビーイングの向上

- 働きがいのある仕事・より良い働き方の構築
- 社員やその家族・大切な人のウェルビーイングの向上
- チームワークの向上と健康な体づくり

社会貢献 持続可能なまちづくり

- 次世代を担う人材の育成
- 安全で安心して暮せるまちづくり
- 災害対策と復興支援

エコモットサステナビリティレポート2025-2026

<https://www.ecomott.co.jp/sustainability.pdf>



従業員が働きやすい環境と心身の健康を保つことが、充実した仕事とプライベートを両立させる基盤と考え制度を導入これにより仕事における革新的なアイデアの創出が促進され、お互いの価値観を共有するチームワーク向上を目指す

働きがいのある仕事・より良い働き方の構築

社内表彰制度

新サービスの開発や新しい取り組みに対して表彰を行う制度
自薦他薦問わずバックオフィスから営業・開発まで幅広い人が受賞

資格取得奨励金制度

会社が推奨している資格を取得すると受験料・テキスト代・
報奨金を支給する制度常に成長し続ける社員を応援

インセンティブ制度

個人やチームの成果に対して賞与を支給する制度
成果や価値に対して賞与でも還元

社内交流制度：ランチ会や懇親会の費用を会社が負担する制度

テレワーク制度・フレックス制度：幅広い働き方を支援

奨学金返還支援制度：若手人材の奨学金返済による経済的負担軽減

NEW

若手人材の獲得と育成

定着率向上

最先端技術の習得・革新的なアイデアの創出・チームワーク向上

ウェルビーイング・チームワーク向上と健康な体づくり

産後ケアホテル補助

産後ケアホテルの宿泊費を助成
産後の母親が十分な休息を取れる環境を提供

予防接種補助

従業員と扶養家族の予防接種の費用を会社が負担する制度社員と
家族の健康管理のために、社員の声から作った制度

妊活補助

子どもがほしい社員を応援する制度
妊活特別休暇、妊活費用貸付、特定不妊治療費用補助の制度

ベビーシッター補助：ベビーシッターを利用した人に料金の一部または全部を補助

法人契約スポーツジム：会社契約のスポーツジムを好きな時に利用

共済会制度：ご家族の健康診断の助成や宿泊補助、イベントチケットの優待

優秀なIターン・Uターン人材の獲得

充実した仕事とプライベートの両立



全社的な研修・交流による従業員同士の連携強化と福利厚生充実等の従業員が働きやすい環境の整備に加え、浜益区地域課題共助プロジェクトを通じて、地域との持続的な関係を構築していくことで「働きやすい職場」と「持続可能なまちづくり」の実現を目指す

環境

サステナブルコンソーシアム北海道

新しい水産業のモデルをつくる 新たな地方創生の取り組みを推進する「サステナブルコンソーシアム北海道」に参画

水産業のDXを推進するとともに、ITの力で過疎地域の社会課題を解決し、北海道全域の活力を守るための取り組みを目指す



社会貢献

みなみの杜高等支援学校学年職業ゼミ「現地学習」受入れ

みなみの杜高等支援学校の1年生8名を対象に現地学習の受入れを実施

当日は会社紹介に加え、「AIの現状とこれからの働き方の変化」をテーマに、生徒の皆さまからの質問を交えた講義を行い、次世代のIT人材育成を支援する活動を推進

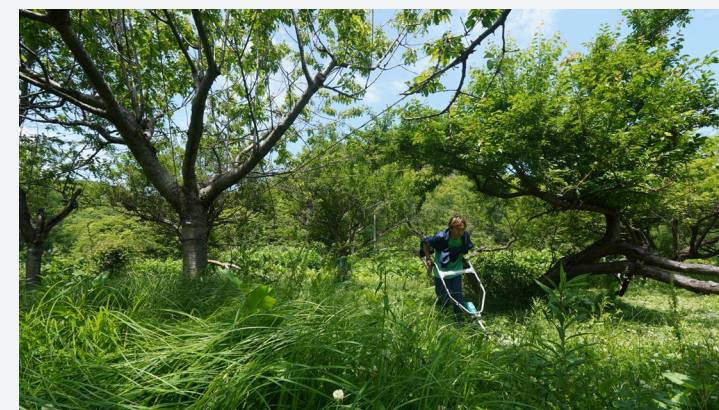


社会貢献

浜益区地域課題共助プロジェクト

石狩市浜益区において、廃園となっている果樹園の草むしりを支援

雑草を放置するとヒグマが人里に降りてきてしまう恐れがあるため、定期的に草むしりのお手伝いをおこない、安全安心なまちづくりに貢献



このテクノロジーでもっと、先の未来へ



- 本資料は、情報提供を目的としたものであり、当社株式等特定の商品についての募集・投資勧誘・営業等を目的としたものではありません。
- 本資料に記載されている見解・見通し・予測等は、資料作成時点での当社の判断です。将来における当社の業績が、現在の当社の将来予想と異なる結果になることがある点を確認された上で、ご利用ください。
- 本資料で提供している情報は、予告なしに内容が変更または廃止される場合がありますので、あらかじめご了承ください。
- 本資料は、投資家の皆様がいかなる目的にご利用される場合においても、ご自身のご判断と責任においてご利用されることを前提にご提示させていただくものです。

< 本資料に関するお問い合わせ先 >

エコモット株式会社 経営企画部
TEL : 011-558-2211 Mail : ir@ecomott.co.jp
URL : <https://www.ecomott.co.jp/>